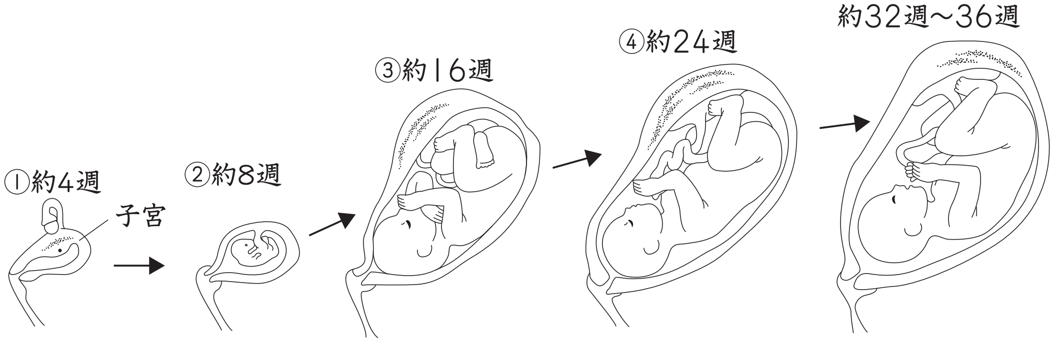
第17講 ● 人のたん生

1　人のたんじょう

女性の卵（卵子）と男性の精子が結びつくことを受精といい，受精した卵を受精卵（直径約0.2mm）という。人は，受精卵が母親の子宮の中で成長し，親と似た形でうまれる。

(1)　子宮の中での成長のようす ➡❶

❶



①約４週　体重は約0.01gで，心ぞうが動き始める。

②約８週　体重は約１gで，目や耳ができる。手やあしの形がはっきりし始め，からだを動かし始める。

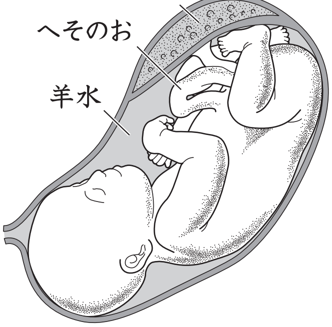
③約16週　体重は約200gで，女性か男性かを区別することができる。

④約24週　体重は約900gで，きん肉が発達し，からだを回転させてよく動く。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑵　**子宮の中の子どものようす** ➡❷

①**へそのおとたいばん**　子どもはへそのおとたいばんで母親とつながっていて，成長に必要な養分などをとり入れ，いらなくなった物を母親に返す。へそのおは，うまれた後いらなくなる。へそは，へそのおのあとである。

❷


②**羊水**　子どもを囲んでいる液体を羊水という。子どもは羊水にうかぶような状態になっているので，自由に手やあしを動かすことができる。また，羊水の中で外部からの力などから守られている。

⑶　**たんじょう**　受精からたんじょうまでは約38週（約266日）かかる。子どもは，身長約50cm,体重約３kgでうまれる。

資料（しりょう）　なかまのふやし方

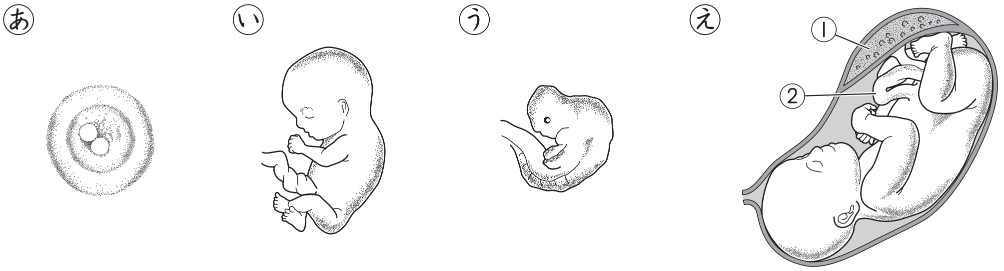
⑴　**動物のなかまのふやし方**　動物には，メダカのようにたまごをうんでなかまをふやすものと，人のように子どもをうんでなかまをふやすものがいる。

⑵　**卵生と胎生**（たいせい）　たまごをうんでなかまをふやすことを卵生という。子どもはたまごの中にふくまれている養分を使って成長し，やがて自分でたまごから出てくる。また，子どもをうんでなかまをふやすことを胎生という。しばらくは，うまれた子どもに母親が乳をあたえて育てる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第17講 • 確認テスト

問１　下の図は，子どもが母親のからだの中で成長していくようすを表したものです。



ⓐの図は，何と何が結びついてできたものですか。

①　男性の卵と女性の精子　　②　男性の卵と女性の卵

③　男性の精子と女性の精子　　④　男性の精子と女性の卵

問２　ⓐの図の直径はどれくらいですか。

①　約0.02mm　　②　約0.2mm　　③　約2mm　　④　約20mm

問３　ⓔの図で①の部分を何といいますか。

①　羊水　　②　子宮　　③　へそのお　　④　たいばん

問４　ⓔの図で②の部分を何といいますか。

①　羊水　　②　子宮　　③　へそのお　　④　たいばん

問５　ⓐ～ⓔを，ⓐを始まりとして子どもが成長する順にならべると，どのようになりますか。

①　ⓐ→ⓘ→ⓤ→ⓔ　　②　ⓐ→ⓤ→ⓘ→ⓔ

③　ⓐ→ⓘ→ⓔ→ⓤ　　④　ⓐ→ⓤ→ⓔ→ⓘ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 Note 〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第17講・確認テスト

問１　④

問２　②

問３　④

問４　③

問５　②

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。